

1999年5月24日

「新ガイドライン関連法案強行採決に断固抗議する」と組合長が談話を発表

○「新ガイドライン関連法案強行採決に断固抗議する」組合長 中西昭士郎

本日、参議院において、新ガイドライン関連法案が慎重審議の声を無視し、強行採決された。すべての海上労働者の怒りを込めて、この暴挙に断固抗議する。本組合は、戦中・戦後を通し、さまざまな悲惨な戦争体験をもつ職業集団として、あくまで「平和の海を希求する」立場から、新ガイドラインと関連法案の危険性をいち早く訴え、港湾はじめ陸海空の交通運輸関係に働く仲間と共同し、活動してきた。また、先般の参議院特別委員会中央公聴会では、組合代表が法案の白紙撤回を求めて意見陳述を行い、海からみた法案の危険性を鋭く指摘した。われわれは、組合員の命と船舶の安全を守る観点から、戦争当事者となって戦火の海に駆り出される事態を拒否することを明らかにするとともに、今後、有事法制につながる関連法の廃止を求め、平和憲法を真に尊重する日本の実現をめざす労働者、国民各層と連帯し奮闘する。

1999年5月24日

(99年の「海員」8月号の特集から転載)

